

安全な野外炊事のために（例：カレーライス）

【準備】

（１）団体（個人）で準備するもの

- ①軍手 ②ハンドソープ ③食器用布きん ④テーブル用布きん ⑤スポンジ ⑥食器用洗剤
⑦鍋のすずをおとせるもの（布たわし推奨） ⑧懐中電灯（夕食時） ⑨救急用品
⑩新聞紙 ⑪ライター等

※着火に必要なものについては、団体で準備をしてください。貸出はしていません。

（２）服装

- ①軍手 ②帽子 ③タオル ④雨具（動きやすいもの） ⑤運動靴 ⑥肌が露出しない服装

（３）食材・ゴミ袋

- ①「食器・食材庫の鍵」を事務室で受け取る。（実施60分～30分前）

- ②食堂売店横の冷蔵庫に食材を取りに行く。



※「団体名、食材の種類・量等」を確認する。
※数量の間違いや傷み等を確認する。何かありましたらその場で食堂売店にお伝えください。
※受け取った食材は野外炊事場の食器・食材庫に入れておく。

- ③食堂売店で「ビニール袋4枚（①生ごみ・②燃えるごみ・③ビニール・④残炭）」「検体袋」「野外備品使用報告書」を受け取る。

【かまど準備・火起こし】

（１）かまどの準備

- ①道具倉庫からかまどの道具を準備する。



- ①バケツ（半分程度水を入れる）
②ほうき
③十能（スコップ）
④火ばさみ
⑤かまど用取手（4つ）



かまどを移動させたいときは…

取手の向きに注意する。「へ」の字になるようにかまどを移動したら、取手ははずして安全な場所に置く。
※かまどは常時、等間隔に配置されているので、そのままの場所で使用することが可能です。

- ②まき倉庫からまきを持ってくる。※1つのかまどにつき1束

(2) まき組み

- ①かまどに上側に設置されている目が縦線のあみを外す。
- ②かまどに下側に設置されている目がひし形のあみにまきを井桁（いげた）に3段組む。
- ③新聞紙を半分に切り、軽く丸める。それを4つ作る。
- ④3つを三角形に置き、その上に1つ置き、ピラミッド状にする。
- ⑤細めのまき（2本）を半分に折り、新聞紙に立てかける。
- ⑥目が縦（たて）線のあみをかまどの上側に設置する。
※BBQの場合は、鉄板を設置する。
- ⑦食材を切り終わったところに、火をつけ始める。



【調理】

(1) 調理の準備

- ①ゴミ袋3枚（（生ごみ・燃えるごみ・ビニール））をバケツにセットする。
- ②調理道具を用意し、洗う。食材を食器・食材庫から炊事場へ運ぶ。



※包丁を運ぶ時は、布きんでくるむ。
または、まな板と重ねて安全に運ぶ



※肉類は、使用する直前まで冷蔵庫に入れておく。

(2) 食材を切る

- ①食材を洗い、食べやすい大きさに切る。
- ②食材を入れる。



※具材が少し出る程度水を入れる。
※水は後からでも追加できる。

○クレンザーの使用について

令和4年度までの野外炊事マニュアルでは、クレンザーを鍋に塗ることを推奨していましたが、「布たわし」を使用することでクレンザーを塗ったときと同様にきれいに鍋を磨くことができるので、クレンザーについての記載を削除いたしました。

※クレンザーの使用を禁止するものではありません。

(3) 米を研ぐ

- ①「ざる」を使って、米を研ぐ。
- ②研いだ米を鍋に入れ、水を入れる。



※深さは、手の甲が水につかるまで。
※ご飯の場合は、少なめより、多めのほうがよい。

(4) 鍋を火に掛ける。

- ①火加減を調整する。
- ②食器を洗い、用意する。



(ご飯)
鍋から湯気が出なくなり、中の水がなくなったら、鍋をかまどからおろす。

(カレー)
じゃがいもとにんじんが柔らかくなったら、ルーを入れて混ぜる。
※カレーの場合は、水は少し少なめでよい。
濃かったら水を足していく。

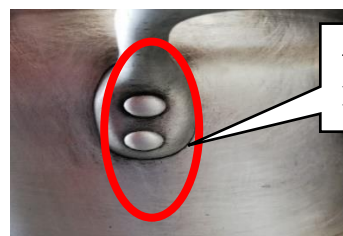
【片付け】

(1) 片付けをする。

- ①鍋以外の食器を洗い、団体の指導者がチェックし、アルコール消毒したら元の場所に戻す。
- ②鍋を洗う。



＜ポイント1＞
ふたの内側にすずが残っていない。



＜ポイント2＞
取手の汚れが残っていない。



＜ポイント3＞
鍋の内側に、お米のぬめりやカレーが残っていない。
※目では見えないものがあるので、手で触って確認する。

③鍋を洗い終わったら、**交流の家の職員の点検**を受ける。**点検が完了したら消毒して、元の位置に戻す。**

点検の 10 分前に点検の連絡を事務室にする。点検はふたと鍋のセットで受ける。

④かまどをきれいにする。灰を片付ける。



バケツの水を捨てて空にする。
ほうきと十能を使って灰を集めてバケツに入れる。
※かまどや灰には、水をかけない。



片付けた灰は、灰置き場の「空のドラム缶」に入れ、
ふたを閉める。
「もう一方のドラム缶」に入っている灰を袋に入れる。

(2) 最終確認する。

- ①炊事場がきれいになったか確認する。
- ②かまど倉庫の道具がそろっているか確認する。
- ③**ごみの分別**が問題ないか確認する。
- ④（屋根付き広場の場合）机・イスが正しい位置にあるか確認する。
- ⑤（屋根付き広場の場合）ブラシをかける。

(3) ゴミ、灰を捨てる。

- ①ゴミとビニール袋に入れた灰を、「**ごみ・灰捨て場**」に運ぶ。



ごみ・灰捨て場

